

長崎居留地まつりブリッジ大会in出島

報告書

場所: 史跡「出島」内 <内外クラブ2階>

開催日: 9月8日(土) 13:00~17:00

セクショナル ●STF(△1000, △300, △50) ペア戦

9月8日(日) 9:45~17:00

セクショナル(午前) ●STF(オープン, △300, △50) ペア戦

C.C.G. (午後) ●チーム戦



のべ参加者数
104名

長崎	55名
福岡	24名
大分	7名
宮崎	2名
大阪	4名
岐阜	4名
新潟	4名
仙台	2名
日立	2名

●明治時代、国際交流の場であった旧内外クラブは、雰囲気抜群!!! 長崎らしい会場でプレイを楽しんでいただきました。



9/9 ↑ 優勝 齋藤・竹中・高武夫妻チーム (新潟・福岡)



2位 上垣・桑野・轟木・西野チーム (長崎・福岡)



3位 松浦・神子・平井・渡辺チーム (長崎・福岡)

●9/9は午前中にペア戦を行い、その結果で午後からイブニングでチーム戦を行いました。

主催
長崎チェス
& ブリッジクラブ

共催
長崎居留地まつり
実行委員会

長崎新聞
2018年(平成30年)9月12日 水曜日



記憶力競い静かなる戦い

コントラクトブリッジ大会

世界共通のトランプゲーム「コントラクトブリッジ」の大会が8、9日、長崎市の国指定史跡「出島」の旧長崎内外クラブであり、2日間で延べ110人の愛好家が参加した。

長崎居留地まつりの一環で長崎チェス&ブリッジクラブ(牛嶋洋一 会長)が主催し、15回目。2組のペアで戦い、出し合ったカードの中で最も強いカードを出した人が勝ちというルール。先日のアジア大会でも新種目として採用され、注目を集めている。

8日は1回約7分のゲームを24回、4時間かけて対戦。ブリッジ歴3年の同市上小島1丁目 木村規子さん(57)は「推理や記憶力などが試される。いろんなやり方がある奥が深い」と話し、牛嶋会長は「一生の趣味としていろんな人に挑戦してほしい」と魅力をPRした。(松岡佑佳)

静かなる戦いを繰り広げる参加者
—長崎市、旧長崎内外クラブ